

三河版



おまん和祭り1
杉浦 久也
光彩会所属

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp
豊橋 総局 〒440-0806
豊橋市八町通4-52-1
0532-52-7181 Fax54-465
岡 崎 支 局
0564-22-1661 Fax25-155
豊 田 支 局
0565-24-1010 Fax25-1111
中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0811
Eメール
center@chunichi.co.jp
広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡 崎 0564-23-3051(代)
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ



連載(中)で登場したかすみ
に変わった。日曜は休みに
支援する。二〇一二年に
発足した安城芸妓文化振
興会(愛称・笑美素会)
働けば、誰でも始められ
るようになった。
「一人でも多くの子
置き屋として一本立ち
してほしい。そして、安城の
文化のために頑張ってほ
しい」。かすみの願いだ。
かすみの下、週一回の
稽古に励み、みな美は六
月に初めて踊りを披露し
た。「不安でいっぱい
だったが、拍手して、褒め
てくれてうれしかった。
やってよかったと思
いました」。今では多いと
きは週五回、宴席に呼ば
れる。
かすみ寮からは五月、
六月にも一人ずつ芸妓が
生まれた。芸事の腕をい
かに上げていくか、みな
美と新人の競争は激しく
なる。

都に行こうか迷ったが、
碧南市に住んでいたみな
美は地元を選んだ。
かすみ寮。そう、この
め、自宅から出勤する形
に変わった。日曜は休みに
支援する。二〇一二年に
発足した安城芸妓文化振
興会(愛称・笑美素会)
働けば、誰でも始められ
るようになった。
「一人でも多くの子
置き屋として一本立ち
してほしい。そして、安城の
文化のために頑張ってほ
しい」。かすみの願いだ。
かすみの下、週一回の
稽古に励み、みな美は六
月に初めて踊りを披露し
た。「不安でいっぱい
だったが、拍手して、褒め
てくれてうれしかった。
やってよかったと思
いました」。今では多いと
きは週五回、宴席に呼ば
れる。
かすみ寮からは五月、
六月にも一人ずつ芸妓が
生まれた。芸事の腕をい
かに上げていくか、みな
美と新人の競争は激しく
なる。

文化守りて



安城商工会議所青年部の式典で踊りを披露するみな美さん(左)と安城市民会館でひのき造りの舞台もあった安城芸妓練舞場の完成を祝う大勢の芸妓(1955年3月、安城市内)



安城芸妓練舞場落成記念 昭和30年3月5日

間口を広げ伝統継承

「お稽古は大変だ
けど、頑張ると自信を持
てられるようになったら
いい。細く長く続けられ
ば」
敬称略
(帯田祥尚、重村敦が
担当しました)

心潤う季節の生け花

豊田で24流派「華道豊展」

季節の彩りを見て味
わい、心の栄養にし
てほしいと「いけばな
は、心のスイーツ。」
がテーマ。二日間ご
に前期、中
分け、各回

火おこし
家族仲良
豊橋

詐欺の
事件